

新型コロナパンデミックから 住民生活を守れ

日本共産党

積極的提案で

実現 しました

これからも、行政・職員と
ともに、地域のために

切実な声を議会にとどける

新型コロナ
経済対策
思い切って！

旅館・ホテルに、

計3,500万円

全町民に、一律1万円

経営悪化事業者に、

計2,500万円

利子助成に、計1,000万円

2020年1月、新型コロナの国内感染者が初めて発生しました。



増山議員は、3月定例会に町内経済対策を求める質問を行いました。

議会が始まる頃には、全国の学校

一斉休校措置など、例のない措置が

取られるなか、一般質問提出時とは

まるで規模が変わって、宿泊客の減

少や事業収入の減少などで、事業

者・町民の疲弊が予

想されることから、

経済対策への思い切

った財政出動を提案

しました。



自治体の役割は、第一に住民の福祉・くらしを守ること。

百年振りのパンデミック(世界的流行)・非常事態に、自治体の面目躍如。

町内外に良い波紋が広がりました。

町内外に良い波紋が広がりました。

安心して暮らせることを、一番に考えています

住宅・店舗
リフォーム
補助制度創設

10万円以上の工事(町内業者で

商工会員に限る)に対して最高20

万円の補助が実現しました。

これにより年間約5000万円の

工事実績がありました。

さらに今年度も事業は

継続されます。



津波避難タワー設置
浸水域の安全確保

2011年3月に発生した東日本大震災か

ら間もなく、予想される東海・東南海大地震

の被害想定が発表されました。

町内の沿岸部や津波浸水域で迅速な津波避

難タワーの設置を提案

し、仁科5基、安良里1

基、宇久須1基の計画が

策定され、現在、安良

里・仁科に1基ずつ設置

が完了しています。



街灯電気料金
地元負担無料化

夜間の防犯だけでなく、防災上でも、街灯が

果たす役割は少なくあり

ません。

以前から要望していた

電気料金は、区長会から

も要望があり、各区の負

担から町の負担になりました。

した。



西伊豆町

第二次総合計画確立

平成の合併後、(新)西伊豆町発足

直後は、第一次総合計画に基づい

た町政運営が進められました。第

一次総合計画終了後、前町長の下、

継続した総合計画の策定が2年間

も空白になりました。

増山議員は、合併後の各地域が

安定して継続・発展する上で総合

計画は必要だと繰り返し議会で提

案。第二次総合計画が確立しまし

た。



増山 勇



毎議会で
発言
提案
チェック

議員の役割は、

住民の声を議会

にとどけ、「住民

こそ主人公」の立

場で議会をチェ

ックすること

です。

増山議員は、毎

議会の一般質問

で、町民の声を届

け・提案・意見を

述べてきました。



明るい西伊豆3月号外 2021年3月発行
日本共産党西伊豆支部(仁科83-1)
連絡先 増山 勇 090-2610-2178
日本共産党の見解を紹介します。ご意見をお寄せください